



DAMANHUR ぽぽろ
ダマヌール日本ニュースレター

POPOLO



Japan
DAMANHUR in the world

《第56 冬号》
発行 ダマヌール日本
発行日 2024年1月

ダマヌールの螺旋(らせん)



イタリア・ダマヌールのサーキット

北イタリアのアルプスの麓に位置するスピリチュアルコミュニティの連合体ダマヌール。地球上に流れる18本のエネルギーの川、シンクロニックラインの4本もが交差するポイントに、地下を掘って創られた人類の神殿はダマヌールのハートとされています。

人類の神殿の地上部に広がる聖なる森は、かつては荒れていた森を蘇らせた場所です。樹々は意識を持ち人間と協働する存在として、私たちは尊重しています。聖なる森は今日では地下にある人類の神殿に繋がり、人類の神殿と同じ機能をもつ「植物の神殿」となっています。植物の神殿にはカラフルに彩色された石で描かれたらせんの他に、迷路や、さまざまな形を組み合わせた数々のサーキットを目にすることができます。それらはシンクロニック

ラインから得られるエネルギーで活性化され、それぞれに異なった機能を持っています。また、植物の神殿以外の場所にも複数のサーキットがあり、夏至や冬至など一年に5回行われる大きな儀式をはじめ、多種多様な研究や探求、グループや個人の成長、セミナーのサポートなどさまざまな機会にサーキットが使われています。

日本のコミュニティに“らせん”が完成

今日では、日本を始めとして世界の各地でダマヌールのらせんが造られています。日本の三重県菟野町にあるダマヌールのコミュニティ・オロヴェリイの敷地内にも、2022年8月、ダマヌールの創立メンバーの一人であるフェニーチェ・フェルチェの指導により“らせん”が完成しました。この“らせん”はシンクロニックラインから得られるエネルギー

を、地球上で一番大きなセルフの構造物である人類の神殿を通して供給されています。らせんは活性化され、さまざまな機能を持っています。マジックな知識に基づいてプログラミングされた7つの機能は以下のとおりです。

- ①ヒーリング:身心魂のバランスを整える
- ②直感を高める
- ③霊媒的な繊細さを発達させる
- ④人間の内面で眠っている技能全般を目覚めさせ発展させる
- ⑤夢の感覚の覚醒と発達
- ⑥アストラトラベルにまつわる技能や感覚の発達
- ⑦植物とコンタクトする感覚の発達



イタリアのダマヌールには、たくさんの螺旋があります

“らせん”を歩いてみましょう

らせんの入り口から中心に向かって歩いて行くと、そこに宿るエネルギーに触れて、オーラをより良い状態へとバランスを取り戻すことができます。ダマヌール日本の動画「ダマヌールの螺旋」で、インストラクターのジュゴン・クスノキは次のように語っています。

『精神的な微妙な感覚や記憶を目覚めさせるためにエネルギーがより使える状態ですから、派生的、結果的にパラノーマルな感覚(通常を超えた感覚)が戻ってきたり、直感がさえたり、夢の感覚…歩いた時は夜に見た夢を覚えているとか、明確さの変化など、具体的な現象として体験することはよくあることです』と。また、自己の内面との対話のために質問を持って歩くと、メッセージが返ってくることもあり、興味深い体験をすることが多々あります。

オロヴェリイの敷地内外は、タバコに含まれる要素が微妙なエネルギーに影響を及ぼすために禁煙になっており、らせんも同様です。また、らせんを歩く際には、石をまたいだり、踏んだりしないように通路を歩いてください。らせんは15歳以上の人が歩くことができます。

そして、さらに2023年12月にはパンの迷路が完成しました。この迷路は同年8月に完成したパンの彫像の前方に設置し、赤と緑にペイントした石で造りました。パンは地球上の自然界や精霊たちを司る神です。今日、私たち人間は植物の世界や精霊の世界と精神的進化のために協働していた時代があったことをすっかり忘れ、さらに地球の様々な環境問題を引き起こして解決が困難な状況を招いています。環境問題を解決して永続的な地球であるように、私たちの意識や行動を変えていく必要があります。この迷路を歩いてパンとの繋がりを密にし、美しい地球の自然を、植物や精霊の世界を、失われゆく種や環境問題などを考えてみませんか。パンの迷路は子どもも歩けます。歩くほどにエネルギーが充填され、サーキットが活性化されていきます。こちらも石を踏んだり、石をまたいだりしないように歩いてください。

ダマヌールの螺旋
動画はこちらから
ご覧いただけます→



PANの神様の迷路(サーキット)

ダマヌールの死生観

宇宙の広大な旅へ

私たちに必ず訪れる死、それは避けることのできない現実です。その死のプロセスは、魂が肉体を離れる瞬間から始まります。それは、科学的には未だ解明されていない広大な宇宙への旅の始まりです。その後、適切な時に、適切な場所の適切な肉体に魂は戻ってきます。生まれ変わるのです。

ただ、多くの人にとって、そのプロセスは謎とされているために、死に対して漠然とした不安や怖れを抱いているのが、現代社会かもしれません。

生きているからこそ体験ができる

ダマヌールでは、死について長年にわたり研究と検証を重ねてきました。人間とは、物質である肉体の中に、永遠の存在である魂が乗り込んで様々な体験をしている存在です。1回の人生の中で、いかに精神的進化を遂げることができたかは大変重要ですが、その一度の人生では限られた体験しかできません。人間が精神的進化を遂げるためには、生まれ変わりを繰り返し、全く異なった環境での考え方や体験を、魂に蓄積していく必要があることを体験を通して私たちが学べるのは、肉体をもって生きているからこそ可能なのです。



死は新たなる出発

死は終わりではありません。死後は物質的な名誉やお金は死と共に消滅します。永遠である魂が、財産として持っていけるのは、蓄積した体験と、それにもなう感情や思いという精神的な部分だけなのです。ほとんどの場合、生まれ変わった時に前世の記憶はリセットされますが、幼少期に部分的に残っているとされています。あなたは、この人生で何を体験し、何を魂の財産として蓄積していくのでしょうか？

古代文明における死生観

唯一神教であるキリスト教やイスラム教では、輪廻転生、つまり生まれ変わりの教えはありません。しかし、アトランティスの文明を引き継いだ古代エジプト、古代チベットのよう高度に発展した精神的文明の中では、計画的な生まれ変わりの技術が用いられていました。古代エジプトのミイラやカノプス壺が存在していることや、現在のチベットにおけるダライラマの継承からも分かるように、その頃の文明は、

宇宙における精神科学的な知識を持っていたのです。

一つの人生を終えると、魂は次の人生へと、人生を越えて旅を続けていきます。つまり死は一つの通過点にしかなりません。ですから恐れる必要は全くありません。生きていた期間の体験と共に、死も魂にとっては同じ体験の一つなのです。

死に対する恐れは無用

中国には、死を恐れて不老長寿を求めた秦の始皇帝が不老不死の薬を探すために、徐福を日本に派遣したという逸話が残っています。しかし生きている限り、死から逃れることはできません。もし死を恐れ、物質に執着して、死を拒絶するならば、それは魂の進化の障害となりかねません。死は決して怖いものでも苦しいものでもなく、大切な1つの体験であるとダマヌールは考えています。

またダマヌールでは、肉体があるからこそ体験が可能である、この人生から逃れて自らの命を絶つことに対して、強い懸念、そして許されるべきことではないと考えています。すべての体験が魂の精神的進化にとって必要である、そこから学ぶ必要がある、魂が永遠であることを知れば、自分さえよければ何をしてもよい、また死ねば全てが終わるという考え方には至らないはずで

生きている間に死について学ぶ

私たちは生まれた瞬間から、すでに死に近づいています。幼少期、青年期には成人を迎える準備をし、独立して社会に出ていく中で、いつ、どのタイミングで死について準備をするかは、誰も教えてくれません。生きている間に、死が私たちにとって重要なこととして、良く考え、深く理解して向き合わなければなりません。始まりがあれば終わりがあるように、死とはこの世に生れてくれば自然なことで、当たり前なことだと受け入れるだけです。良い最後を迎えることは、自分だけでなく、愛する人たちのためでもあります。また残された遺族が、死者に対していつまでも嘆き悲しむ必要もないのです。魂が新しい旅に出発しただけなのですから。

ダマヌールセミナー「死を習う」

2/10(土) 11(日) 詳細は8P

Orovelj オープンデイ開催

オロヴェリジが、ダマヌール連合体の正式なコミュニティーとして承認されました。みなさんに気軽に訪問していただく機会として、11月23日に初のオープンデイを開催しました。



セルフティックペインティングの展示、植物の音楽、ミニコンサート、ヒーリング体験（プラノセラピー）、螺旋を歩く体験、無添加のおにぎりランチなどで11名のゲストをお迎えしました。

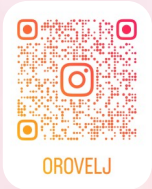


★参加者の声☆シ

螺旋のパワーに驚きました！説明は受けましたが一歩踏み入れた瞬間から、空気感、体感が変わり、様々な調整が行われていくのが分かりました。過去生も分かりますよと教えていただいたので気になる過去生のことを尋ねてみました。妖精時代の過去生で当時行っていたヒーリングワークの手法へアクセスする方法を伝えてもらったので、今度行ってみます！

1度目を終えてから、受け取る力が大きくなり、感度がアップし過ぎた感覚がありましたので、2度目は必要な時はマックス全開になり普段は程良くとバランスを取ってもらうようお願いしました。また1番驚いたのが、宇宙語が飛び出したことでした。練習してみましょうと言われ螺旋の中心ではもう、止まらない、止められない程の早口で発していました！初体験でした！

プラノセラピーやコンサート、敷地内の建造物などから、宇宙の叡智を受け取り、この地球で繋いでいこうとされるダマヌールの精神を垣間見させて頂き、とても勉強になりました。また様々なイベントがあるようなので、機会があれば参加させて頂きたいと思います！ありがとうございました。



OROVELJ

↑ Orovelj
Instagram

ダマヌールのセミナーを受講して～変化と気づき～ H・Kさん

セミテンポラーレⅡ & パーソナリティのコース

セミテンポラーレⅡ「時の種」というコースでは、過去を書き換え、未来へ枝葉を伸ばし、魂の望む未来を実現することを後押ししてくれる。

このセミナーを受講するまで、この人生で何を望めばいいのか？と望みがぼんやりとしていました。このセミナーの2カ月前に、パーソナリティ2のセミナーを受講しました。このセミナーでは主要なパーソナリティ(自分の中にあるいくつかの異なる人格)を特定するエクササイズがあり、自分の中に「人生を諦めていて何も望まない」という心が凍りついてしまったパーソナリティ(人格、もう一人の自分)がいることに気が付きました。このパーソナリティの言い分を聞き、受け止めていくことが一番辛くて苦しい作業でしたが、エクササイズをするグループ間でシェアをして話を聞いてもらえたことが、このパーソナリティを受け止めて変化してくるための支えとなりました。

また、自力で変化してくるのは大変だったので、プ

ラノセラピーの回数を増やしてヒーリングを受けたことも、より良い変化の為の助けになりました。

このパーソナリティⅡのセミナーの最後にトリダクナ先生より「この人生で実現したい望みを思い出すこと」と課題が与えられました。

この課題がセミテンポラーレⅡを受けることで明確になりつつあります。

魂からの本当の望みとは何か？何を望めばいいのか？

このセミナーの中に、魂の本当の望みを知る手がかりが、ちりばめられていると感じました。

ファルコさんの「私たちが人間は望む為に生まれてきている。私達が元々創造主の神様だから」という言葉が深く心に響き、魂が本当に望んでいることを望み、叶えて、幸せになっていいのだと思えました。

セミテンポラーレⅡ「時の種」は一生使い続けることが出来るので、進化に向けてより良い変化が継続できることに感謝しています。

4つの錬金術的要素に捧げられた祭壇～空気の祭壇～



コミュニティの中には、火、水、土、空気の4つの錬金術的要素に捧げられた祭壇があります。今回は、空気の祭壇について紹介したいと思います。

空気の祭壇は、テリトリーの南西角、少し小高くなった場所にあります。木の柱の上に装飾されたアクリルの屋根が乗っており、その上に羽を広げた木彫りのハヤブサが載っている小さな東屋のようなものが空気の祭壇です。風が吹くと、吊るされたウィンドチャイムが心地の良い音を奏でてくれます。

一般に空気は、無色透明、無臭なので普段の生活の中で特別に空気を意識するということは、ほとんどないかもしれません。普段はそこに「ある」のに、気づくことのない空気。しかし、空気がなかったら私たち人間だけでなく、植物も動物もほとんどの生き物は生きていけません。また、地球の表面をとりまいている大気の層は、宇宙からの有害な紫外線やX線を遮るバリアの役割や、隕石やチリなどの宇宙の落下物を緩和したり、太陽の熱や光を吸収したり、地表とそこに存在してる動植物を保護する役割をしています。空気の動きは目に見えませんが、風が吹いて森の木が順々に揺れていく様を見ると、「あ、風が見えた。」と思う瞬間があります。空気が動くことで風が起きるのです。また、空気がない真空の状態では音は伝わりません。風は植物の種を飛ばして植物の生殖を助けたり、鳥が移動するために利用したり、地球の空気を循環させて熱を運んだりとさまざまな働きをします。

空気の要素は、宇宙の命の形の存在全てをつなげる役割で、メッセージを運び、変化をもたらす、つまり進化を生み出すために不可欠な要素なのです。

10月21日はダマヌールの空気の要素に捧げられた日でした。その日は、空気の祭壇に、葉っぱを用意してそこに聖なる言語を書いて空気の祭壇から風に乗せてその葉っぱを飛ばすことが行われました。空気の要素に捧げられた日に詠まれた祈りを最後に紹介します。皆さんもこの祈りの言葉を読んで普段は当たり前前にありすぎて気にも止めていない、空気の要素に想いを馳せてみませんか？

風の神々たちよ、香りの収集者たちよ、



新しい自由の扇動者たちよ、
喜びと明るさの担い手たちよ、
目覚めた神々の統合の和音を響かせ、
民族の声を振動させてください。
喜びと明るさの運び手よ、
目覚めた神々の統合の和音を響かせ、
民族の声を振動させてください。
そうあらんことを。

コミュニティの畑



OROVEL J

コミュニティ便り

コミュニティの畑化計画進行中です。ここは畑に適さない土地でしたが、そんな土地を耕し少しずつ畑を広げていっています。まず斜面に段々畑を作りました。次いでそのとなりにティピ畑を作りました。そしてここに野菜を植えました。野菜は成長し、一部は収穫間近までできました。ところが…



↑自然素材の段々畑



↑猿です。コミュニティには度々猿が出没します。猿被害に遭い、せっかく作ったかぼちゃやじゃがいもは食べられてしまいました。



↑私たちは猿を想定し、猿よけネットを設置し対策はしていましたが、猿のほうが一枚上手でした。



↑そんなアクシデントもありましたが、コミュニティでは無事秋の収穫を終えました。さつまいもや里芋がたくさん採れました。喜びのひとときです。

→収穫を終えた後は、急いで猿対策を行いつつ、冬支度をしています。越冬のためビニールを被せています。この地は、冬は雪が降るからです。毎日慌ただしい日々を過ごしていますが、私たちの挑戦は続きます。



ダマヌールのクラシックセルフ



セルフとは…
詳しくはこちら



「喜びのセルフ」

このセルフは光と太陽光の振動を増幅して、エネルギーを変化させ、ポジティブで調和のとれた平和な雰囲気を作り出すことができます。その機能を発揮するには日当たりの良い場所または明るく照らされた場所に設置する必要があります。その効果は半径約12メートルの範囲に広がるので、職場や家庭での使用をお勧めします。

このセルフのベースは人類の神殿の窓やドームに使用されているものと同じ貴重なガラスから手作業で切り出されています。そのためガラスの色は時間の経過とともに変化する場合があります。

第2回 オロヴェリオープンデー

3月2日(土) 11時から17時

参加費 ¥1,000 会場 オロヴェリ(菰野町)

ダマヌール連合体の正式コミュニティ「オロヴェリ」を体験していただくイベントです。

ダマヌールの螺旋を歩く体験、独自の科学で作ったセルフや、ファルコ・タラッサコが描いたセルフックペインティングも展示します。希望者には、軽食(有料)もございます。ぜひお気軽に遊びにきてください。ヒーラーが多く在籍しております。プラノテラピー(ヒーリング)も体験いただけます。

★プラノテラピー体験(ご予約が安心です♪)

プラノテラピー: ¥4,500
ビューティのプラノテラピー: ¥6,000
プラノテラピー+ビューティのセット: ¥10,000

お申込みは seminario@damanhur.jp

EVENT

癒しフェアin大阪

4月20日(土)21日(日)

10時から17時

日本最大級の体験型癒しイベント「癒しフェア」にダマヌール日本が出展します。皆さまのお越しをお待ちしております。
※入場券が必要です。入場券は、日程が近くなりましたら、公式サイトからお申込みください。



【会場】梅田スカイビル

〒531-6039

大阪市北区大淀中1-1-88

「ダマヌール日本」の情報発信

ご登録お待ちしております！



ホームページ



インスタグラム



メールマガジン



公式ライン



フェイスブック



ニュースレターぼぼろ



「死を習う」 ～より良く生きるために、死のメカニズムからのアプローチ～

2/10(土) 11(日) 1日目 11:00-18:30 2日目 10:00-18:00

参加費 ¥40,000

誕生して今を生き、そしていつかは誰にも訪れる「死」。
 ダマヌールの哲学では、輪廻転生を人間が進化し続けるための道と考えています。死は終わりではなく通過点であり、次の人生への再出発点なのです。より良い人生を生きるためには、死を漠然とした不安として頭の隅に置くのではなく、本来の意義やそのプロセスを明確に理解することが大切です。なぜなら、死は間違いなく人生の集大成といえる体験なのです。

このセミナーでは、ダマヌールが受け継いだ秘教的知識に検証を重ね、実際に生まれ変わりのプログラムにも活かしている死のメカニズムを明らかにしていきます。そして、よい死を迎えるための日常的準備について、また、死にゆく人が穏やかな旅立ちを迎えるために誰もが行えるサポートなど具体的にお伝えします。

これらの知識は、大切な人の死に向き合う方々に、医療・介護関係者や死に関わるさまざまな職種の人に、そして、自分の人生をより豊かに生きるために大きな助けとなるでしょう。



フェニーチェ・フェルチェ
(Fenice Felce)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌール創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。スピリチュアル物理学・ダウジング・インナーハーモニゼーション・セルフ学的催眠療法・アストラトラベルのスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍しています。その豊かな研究体験と深い理解と幅広い知識にあふれた講演は常に多くの参加者を魅了してやみません。



＼イタリアよりコンドル・ジラソーレが来日／

「ADONAJBA アドナイバ」

～秘教的知識に基づくチャクラとは 精神的な覚醒に向けた重要性～

2/17(土) 18(日) 1日目 11:00-17:00 2日目 10:00-18:00 参加費 ¥40,000

コンドル・ジラソーレ
(Condor Girasole)



ダマヌールの創立メンバーの一人。ダマヌールのメディテーションの学校のインストラクターで、その運営指導に関わる。2013年以後ダマヌールのスピリチュアルガイド6名の一人としての役割を担う。ファルコ(1950-2013)からもたらされた知識を編纂するグループ『テオレティチ』の総括責任者。インナーハーモニゼーション、メトウラトゥーラのスペシャリスト。長年の研究と訓練、経験から溢れ出る豊かで深い知識に基づくエクササイズには定評がある。

アドナイバ(チャクラ)は、私たち人間の何層もの異なったエネルギーの身体が集まるポイントであり、内なる扉です。アドナイバのエネルギーを刺激して活性化することは、悟りのプロセスの一つであり、いくつかの適切なテクニック(インナーハーモニゼーション、サーキット、スキーマ、メトウラトゥーラ)を使って取り組むことは人間の成長につながります。

このセミナーでは、私たちのサトルなエネルギーの体と魂との繋がりや機能を秘教的知識に基づき学びます。そして、メトウラトゥーラの第一人者であるコンドルとともに簡単なエクササイズも行います。アドナイバ(チャクラ)についてより深く知り、精神的進化、成長を遂げたい方には、またとない機会です。お見逃しなく！オンライン(ZOOM)受講も可能です。

<お申込み・お問合せ>

●ダマヌール日本セミナー事務局
Mail:seminario@damanhur.jp



会場:オロヴェリィ セミナールーム

(三重県三重郡菟野町杉谷)
 近鉄湯の山線「菟野駅」または「湯の山温泉駅」から
 タクシーで15分/
 お車の場合は新名神「菟野」から約14分